

令和5年度 学校推薦型選抜 I

(水産学部水産学科)

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開かないこと。
2. 解答時間は90分である。
3. 問題用紙(表紙, 白紙を含む)は3枚, 解答用紙は2枚, 下書き用紙は2枚である。落丁, 乱丁, 印刷の不鮮明なものがあったら申し出ること。
4. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
5. 解答は, 必ず解答用紙の所定の欄に記入すること。
6. 解答は, 解答用紙に横書きし, 鉛筆(シャープペンシルを含む)書きで記入すること。
7. 解答に字数制限がある場合には, 句読点および数字は1マスとすること。
8. 試験終了後, 解答用紙, 問題用紙, 下書き用紙を回収するので, 持ち帰らないこと。

問題

日本は、水産資源を持続的に利用するために資源管理型漁業に取り組んでいます。図1はその概要を理解するための図です。この図を参照しながら以下の問いに答えなさい。

問1

図1に示された①「魚の育つ環境をつくる」という項目では、主に卵や子どもの魚の生育環境が対象です。水産業に関連する以下のキーワードをすべて用い、①を実現するための方法とその理由を述べなさい。400字以内とする。キーワードは複数回用いても良い。

<キーワード> 富栄養化、藻場、赤潮、干潟、磯焼け

問2

図1に示すように、②「子どもの魚を保護する」、③「親になる魚を残すようにする」、④「卵を産む親を残す」ためには、いずれも魚を獲りすぎないこと、獲らないことが必要です。これらを実現するために、漁業者および国や県などの行政機関は、どのような対策をとるべきでしょうか。その内容と、対策によって期待される効果について400字以内で論じなさい。

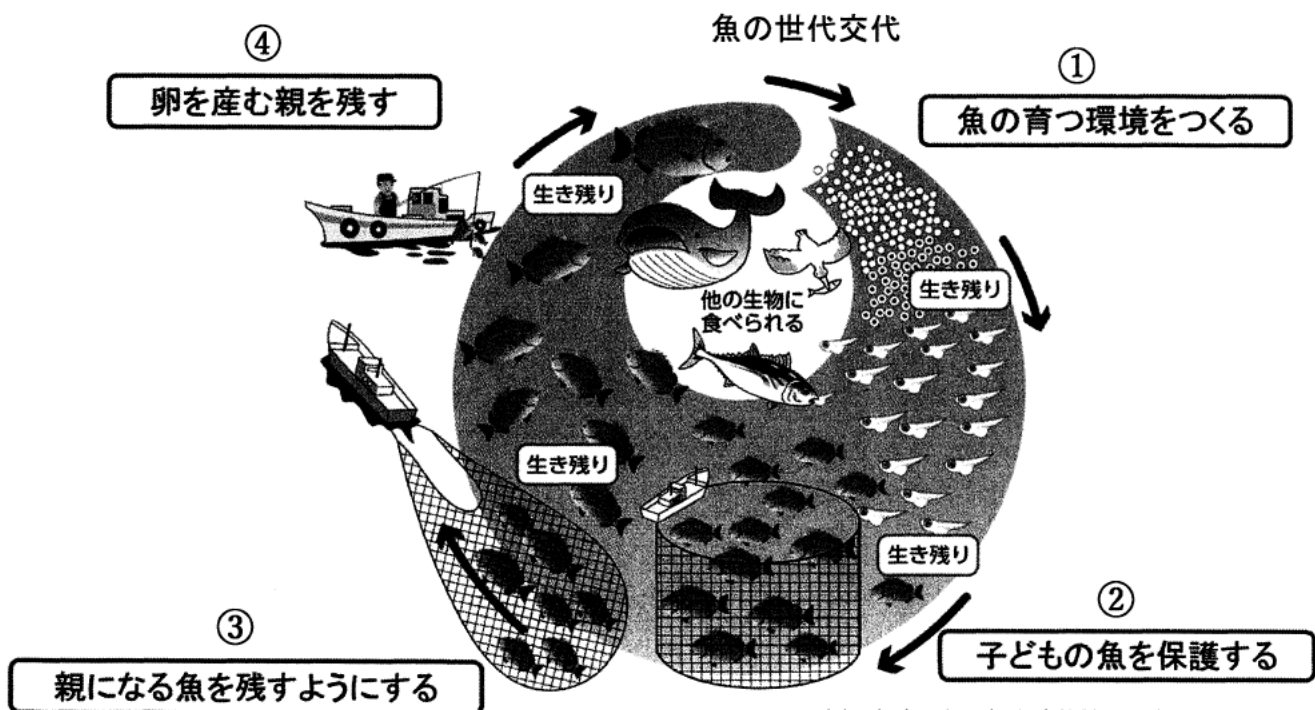


図1 資源管理の概念図

(水産庁「図で見る日本の水産」に基づき作成、一部加筆)